

令和6年度 第3回 学校評議員会兼学校関係者評価委員会 報告

1 日時 令和7年2月 27 日(木) 午後3時から4時 30 分まで

2 場所 本校 小会議室

3 参加者

渡邊 昇司	静岡大学教職大学院 特任教授
犬浦 教雄	白糸・上井出学習センター長
川上 健治	富士特別支援学校富士宮分校教頭
齋藤 賢文	PTA会長

<本日欠席>

加藤 孝明	富士宮商工会議所 経営支援課長 本校後援会長
-------	------------------------

校長(山野)、副校長(長谷川)、教頭(野澤)、事務長(鈴木道)
総務課長(佐藤れ)、教務課長(鈴木啓)、情報課長(長田)、生徒課長(多田)
保健課長(市川)、図書・研修課長(佐藤詔) 商業学科長(山田)
1学年主任(井上)、2学年主任(岩田)、3学年主任(関口)
<本日欠席>進路課長(杉山)

4 内容

(1) 開会(司会:副校長)

ア 校長挨拶

- ・新校舎が完成し、より良い学習環境が整ったことを報告
- ・高校無償化について
- ・「授業づくりは人づくり」「人づくりは授業づくり」を基本理念とし、自己実現に向けた授業を推進
- ・本校への志願者が増加傾向にあり、地域からの期待を認識
- ・今年度を振り返り、職員一同次年度に向けた準備をしている。

(2) 議事(司会:委員長)

ア コンプライアンス委員会

(ア) コンプライアンス関係報告(副校長)

- ・毎月、コンプライアンス研修を実施している。

(イ) 協議・質疑応答

イ 学校からの説明

(ア) 学校自己評価について

教職員、生徒、保護者による学校評価アンケートの結果を説明した。また、それらを基に行った学校自己評価について説明した。

(イ) 「行きたい学校づくり」推進事業報告

ウ 自己評価等についての質疑応答及び意見交換

エ 次年度学校運営計画(案)についての意見

オ 全体質疑応答

(各委員の発言要旨)

犬浦委員

配慮を生徒のケース会議の対応について教えていただきたい。

→配慮を要する生徒も在籍しているが、必要に応じて会議を開いて全職員で対応している。

齋藤委員

総合的な探究の時間(タンタタイム)を通じてプレゼン方法等技術力が向上している。最近の学生の傾向として自信がない生徒も見られる。生徒に自信をつけさせること

が大切ではないか。広報に関しては、Instagramの影響もあり、上がってきているのではないか。外のトイレについて対応をお願いしたい。

渡邊委員

総合的な探究の時間は、キャリア教育に繋がる。中学校までは職場体験とキャリア教育と結びついている。しかし、高校では、キャリア教育を受けてきた生徒が少ないのではないか。総合的探究の時間を通じて、ライフプランを考えることの重要性を生徒に伝え、将来設計への意識を醸成することが重要である。プレゼン能力等のスキルについては、自然に身に付くであろう。

川上委員

分校の生徒は、宮北生を見本にし繋がりを求めている。宮北生の気持ちの良い挨拶が増えた。挨拶が、スタートではないか。富士宮分校でもInstagramを始めた。仕組みづくりについて教えていただきたい。

→Instagramへの投稿に関しては、個人情報扱うため、保護者及び教員から同意書の提出を求めた。

(3) 閉会(司会:副校長)

令和7年度の予定

第1回 6月、第2回 11月、第3回 2月